

最新！今後の電力需給と節電、利益に直結する省エネセミナー

震災後の原子力発電所による電力供給が不安定な中、電力需要が増加するこれからの季節に、各電力会社からこの冬も節電率を示しながら節電の要請が発表されています。

未だに原子力発電所の再稼働が不透明の中、高止まりの化石燃料等による発電コストの電力料金への上積みも危惧されるところです。

このような状況下、電力需給の状況を正確に把握し事前の対策を検討することは経営上必須であり、節電だけにとどまらず省エネルギー対策を実施することは会社利益を考える上でチャンスでもあります。

今回、九州経済産業局の電源開発調整官より九州管内の電力需給の見通しと節電の必要性について説明していただき、企業の節電対策の支援に資する国の助成事業をご紹介します。また節電・省エネを新たなビジネスチャンスとする九州圏内企業の活動状況も御紹介いたします。

さらに、省エネの専門家により「利益に直結する省エネ」と題して省エネの具体的な対策を解説していただき、今後の電力需給やエネルギーコストについても解説をいただきます。多数の方々のご来場をお待ち致しております。

□日時・実施場所：

平成 23 年 1 月 30 日（月）13 時 30 分より 16 時、荒尾商工会議所(定員 30 人)

平成 23 年 1 月 31 日（火）13 時 30 分より 16 時、八代商工会議所(定員 50 人)

□講師：

国徳 和秀 フォーイーズ株式会社 代表

□受講対象者：

県内製造企業 経営者、総務・管理関係者

□参加費：

無料

□主催：

財団法人くまもとテクノ産業財団

□後援：

九州経済産業局、熊本県、一般社団法人熊本県工業連合会、財団法人省エネルギーセンター、

□プログラム：

セミナーテーマ：「利益に直結する省エネ」

1. 今後の電力需給対策について

- ・九州管内の電力需給の見通しと節電の必要性について
- ・企業の節電対策の支援に資する国の助成事業に関して
- ・節電・省エネルギーをビジネスチャンスとする九州圏内企業の活動情報

2. セミナー「利益に直結する省エネ」

講師：国徳 和秀氏（フォーイーズ代表）

- ・省エネの必要性
- ・省エネの考え方
- ・省エネの進め方
- ・設備ごとの省エネポイントと事例

3. くまもとテクノ産業財団の専門家派遣事業について

□ お問い合わせ先：

(財) くまもとテクノ産業財団中小企業支援センター 事業革新支援室 中島、緒方
〒861-2202 上益城郡益城町大字田原 2081-10

[TEL:096-286-3421](tel:096-286-3421) FAX:096-289-2457 Email:jinzai@kmt-ti.or.jp

会社名			
〒住所			
申込担当者 所属・氏名			
E-mail			
電話番号		FAX	
受講者氏名	所属	役職	